

様式第2号（概要）（学部学科等の課程）

認定を受けようとする大学の課程の概要

大学名	大阪電気通信大学（学部学科等の課程）							
設置者名	学校法人大阪電気通信大学							
大学の位置	大阪府四條畷市清滝 1 1 3 0 番 7 0 号							
学部名	学科等名	入学 定員	設置年度	認定を受けようとする 免許状の種類 (免許教科・領域)	現在認定を受けている免許状の種類（免許教科・領域） (認定年度)			
					幼・小	中・高	特支	養教・栄教
健康情報学部	健康情報学科	165	令和7年度	中一種免（数学） 高一種免（数学） 中一種免（保健体育） 高一種免（保健体育） 高一種免（工業）				
医療健康科学部	医療科学科	—	平成16年度			中一種免（数学） (令和元年度)		
						高一種免（数学） (令和元年度)		
						高一種免（工業） (令和元年度)		
	健康スポーツ科学科	—	平成20年度			中一種免（保健体育） (令和元年度) 高一種免（保健体育） (令和元年度)		
工学部	電気電子工学科	80	昭和36年度			中一種免（数学） (令和元年度)		
						高一種免（数学） (令和元年度)		
						高一種免（工業） (令和元年度)		
						高一種免（情報） (令和元年度)		
	電子機械工学科	80	昭和40年度			中一種免（数学） (令和元年度)		
						高一種免（数学） (令和元年度)		
						高一種免（工業） (令和元年度)		

工学部	機械工学科	90	昭和50年度		中一種免（数学） （令和元年度）		
					高一種免（数学） （令和元年度）		
					中一種免（技術） （令和元年度）		
					高一種免（工業） （令和元年度）		
	基礎理工学科	86	平成19年度		中一種免（数学） （令和元年度）		
					高一種免（数学） （令和元年度）		
					中一種免（理科） （令和元年度）		
					高一種免（理科） （令和元年度）		
情報通信工学部	情報工学科	160	平成17年度		中一種免（数学） （令和元年度）		
					高一種免（数学） （令和元年度）		
					高一種免（工業） （令和元年度）		
					高一種免（情報） （令和元年度）		
	通信工学科	80	平成17年度		中一種免（数学） （令和元年度）		
					高一種免（数学） （令和元年度）		
					高一種免（工業） （令和元年度）		
					高一種免（情報） （令和元年度）		
総合情報学部	情報学科	90	平成17年度		中一種免（数学） （令和元年度）		
					高一種免（数学） （令和元年度）		
					高一種免（情報） （令和元年度）		
入学定員合計		831					
備考	・健康情報学部健康情報学科は、令和7年度設置のため、現在、医療健康科学部医療科学科、理学療法学科及び健康スポーツ科学科を改組し、設置届出予定である。 ・改組前の医療健康科学部医療科学科及び健康スポーツ科学科については、令和7年度をもって教職課程認定を取り下げる予定である。						

様式第2号（中・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（中・教科及び教科の指導法に関する科目）													
認定を受けようとする学部・学科等	健康情報学部	健康情報学科	入学定員 165	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 28単位				2. 学 位 学士（工学） 学士（理学療法学） 学士（スポーツ科学）		3. 学位又は学科の分野 工学関係 保健衛生学関係（リハビリテーション関係） 保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。） 体育関係			
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目						教職専任教員				備考
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		共通開設		教授 准教授 講師 助教					
				必修	選択	学校種等	学科等						
中一種免 （数学）	教 科 及 び 関 連 す る 専 門 的 事 項 に 関 する 科 目	代数学	代数学 1	2		高 （数学）	同						※「教科に関する専門的 事項」の選択科目から6 単位選択必修
			代数学 2		2	高 （数学）	同						
			線形代数		2	高 （数学）	同						
		幾何学	幾何学 1	2		高 （数学）	同						
			幾何学 2		2	高 （数学）	同						
		解析学	解析学	2		高 （数学）	同						
			基礎解析学 1 演習		2	高 （数学）	同						
			基礎解析学 2 演習		2	高 （数学）	同						
			情報システム工学		2	高 （数学）	同			水野裕志			
		「確率論、統計学」	確率・統計	2		高 （数学）	同						
医療健康統計演習			2	高 （数学）	同			中村英夫					
コンピュータ	コンピュータリテラシー 1	2		高 （数学）	同								
	コンピュータリテラシー 2		2	高 （数学）	同								
	プログラミング基礎演習		2	高 （数学）	同								
	データ処理プログラミング		2	高 （数学）	同								
情報工学基礎演習		2		高 （数学）	同			（水野裕志）		これら4科目より2科目4単位選択必修			
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目													
		数学科教育法 1	2		高 （数学）	同							
		数学科教育法 2	2		高 （数学）	同							
		数学科教育法 3	2		高 （数学）	同							
		数学科教育法 4	2		高 （数学）	同							
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 34単位							●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人						
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数（他学科等が開設した授業科目の単位数を記載） 0単位							●必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人						
C. 教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 28単位													
D. 教員の免許状取得のための選択科目 14単位													
E. 「開設授業科目の合計単位数」（C+D）－「免許状取得に必要な最低修得単位数」 14単位													

※教職専任教員数には「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（中・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（中・教科及び教科の指導法に関する科目）												
認定を受けようとする学部・学科等	健康情報学部	健康情報学科	入学定員 165	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 28単位				2. 学 位 学士（工学） 学士（理学療法学） 学士（スポーツ科学）		3. 学位又は学科の分野 工学関係 保健衛生学関係（リハビリテーション関係） 保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。） 体育関係		
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員				備考	
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数 必修 選択		共通開設 学校種等 学科等		教授	准教授	講師		助教
中一種免 （保健体育）	教 科 及 び 開 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 専 門 的 事 項 科 目	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項 科 目	体育実技	スポーツ方法実習(器械運動)	1		高 (保健体育)	同	中井 聖	市谷浩一郎	松長大祐 (松長大祐)	いづれか1科目選択必修
				スポーツ方法実習(ベースボール型競技)	1		高 (保健体育)	同				
				スポーツ方法実習(陸上競技)	1		高 (保健体育)	同				
				スポーツ方法実習(武道)	1		高 (保健体育)	同				
				スポーツ方法実習(水泳・水中運動)	1		高 (保健体育)	同				
				体づくり運動と運動遊び	1		高 (保健体育)	同				
				スポーツ方法実習(ダンス)	1		高 (保健体育)	同				
				スポーツ方法実習(バスケットボール)	1		高 (保健体育)	同				
				スポーツ方法実習(ネット型球技1)	1		高 (保健体育)	同				
				スポーツ方法実習(ネット型球技2)	1		高 (保健体育)	同				
				スポーツトレーニング実習	1		高 (保健体育)	同				
				スポーツ方法実習(冬季スポーツ)	1		高 (保健体育)	同				
				スポーツ方法実習(ゴール型球技)	1		高 (保健体育)	同				
				専 門 的 事 項 科 目	専 門 的 事 項 科 目	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	身体・スポーツ文化論	2				
	体育・スポーツ原理	2					高 (保健体育)	同				
	体育・スポーツ心理学	2					高 (保健体育)	同				
	体育・スポーツ社会学	2					高 (保健体育)	同				
	スポーツマネジメント論	2					高 (保健体育)	同				
	スポーツ指導実習	1					高 (保健体育)	同				
	解剖生理学 1	2					高 (保健体育)	同				
	運動生理学	2					高 (保健体育)	同				
	解剖生理学 2	2					高 (保健体育)	同				
	公衆衛生学	1					高 (保健体育)	同				
	目	目	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	保健体育科教育法 1	2		高 (保健体育)	同				
保健体育科教育法 2				2		高 (保健体育)	同					
保健体育科教育法 3				2		高 (保健体育)	同					
保健体育科教育法 4				2		高 (保健体育)	同					
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 35単位 B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数（他学科等が開設した授業科目の単位数を記載） 0単位 C. 教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 32単位 D. 教員の免許状取得のための選択科目 11単位 E. 「開設授業科目の合計単位数」（C+D）－「免許状取得に必要な最低修得単位数」 15単位							●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 4人 ●必要教職専任教員数(教科に関する専門的事項) 3人					

※教職専任教員数には「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の教職専任教員は含めないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）																
認定を受けようとする学部・学科等	健康情報学部	健康情報学科	入学定員 165	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 24単位				2. 学 位 学士（工学） 学士（理学療法学） 学士（スポーツ科学）		3. 学位又は学科の分野 工学関係 保健衛生学関係（リハビリテーション関係） 保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。） 体育関係						
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目					教職専任教員				備考				
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		共通開設	教授	准教授	講師	助教						
				必修	選択	学校種等					学科等					
高一種免 （保健体育）	教 科 及 び 関 連 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	体育実技	スポーツ方法実習（器械運動）	1		中 （保健体育）	同	中井 聖		松長大祐		いずれか1科目選択必修			
				スポーツ方法実習（ベースボール型競技）	1		中 （保健体育）	同								
				スポーツ方法実習（陸上競技）	1		中 （保健体育）	同								
				スポーツ方法実習（武道）	1		中 （保健体育）	同								
				スポーツ方法実習（水泳・水中運動）	1		中 （保健体育）	同								
				体づくり運動と運動遊び	1		中 （保健体育）	同								
				スポーツ方法実習（ダンス）	1		中 （保健体育）	同								
				スポーツ方法実習（バスケットボール）	1		中 （保健体育）	同								
				スポーツ方法実習（ネット型球技1）	1	1	中 （保健体育）	同								
				スポーツ方法実習（ネット型球技2）	1	1	中 （保健体育）	同								
				スポーツトレーニング実習	1	1	中 （保健体育）	同								
				スポーツ方法実習（冬季スポーツ）	1	1	中 （保健体育）	同								
				スポーツ方法実習（ゴール型球技）	1	1	中 （保健体育）	同								
							身体・スポーツ文化論	2							中 （保健体育）	同
	体育・スポーツ原理	2					中 （保健体育）	同								
	体育・スポーツ心理学	2					中 （保健体育）	同								
	体育・スポーツ社会学	2					中 （保健体育）	同								
	スポーツマネジメント論	2					中 （保健体育）	同								
	スポーツ指導実習	1					中 （保健体育）	同								
	解剖生理学 1	2					中 （保健体育）	同								
	運動生理学	2					中 （保健体育）	同								
	解剖生理学 2	2					中 （保健体育）	同								
	公衆衛生学	1					中 （保健体育）	同								
				衛生学・公衆衛生学												
				学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	スポーツ医学と救急救命演習	2		中 （保健体育）	同							
					学校保健	2		中 （保健体育）	同							
				教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			保健体育科教育法 1	2		中 （保健体育）	同					
							保健体育科教育法 2	2		中 （保健体育）	同					
							保健体育科教育法 3	2		中 （保健体育）	同					
	保健体育科教育法 4	2					中 （保健体育）	同								
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数				35単位				●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 4人								
B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数（他学科等が開設した授業科目の単位数を記載）				0単位				●必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 3人								
C. 教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）				28単位												
D. 教員の免許状取得のための選択科目				15単位												
E. 「開設授業科目の合計単位数」（C+D）－「免許状取得に必要な最低修得単位数」				19単位												

※教職専任教員数には「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の教職専任教員は含まないこと。

様式第2号（高・教科及び教科の指導法に関する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（高・教科及び教科の指導法に関する科目）													
認定を受けようとする学部・学科等	健康情報学部	健康情報学科	入学定員 165	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教科及び教科の指導法に関する科目 24単位				2. 学 位 学士（工学） 学士（理学療法学） 学士（スポーツ科学）		3. 学位又は学科の分野 工学関係 保健衛生学関係（リハビリテーション関係） 保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。） 体育関係			
認定を受けようとする免許状の種類（免許教科）	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				教職専任教員				備考		
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数 必修 選択		共通開設 学校種等 学科等		教授	准教授	講師		助教	
高一種免（工業）	教科及び教科の指導法に関する事項	工業の関係科目	電気電子工学実験	2				日坂真樹					※「教科に関する専門的事項」の選択科目から10単位選択必修 これら5科目より6単位選択必修
			プログラミング応用実習	2				藤川智彦					
			ヒト型ロボット製作実習	2				（藤川智彦）					
			ヒト型ロボット制御実習	2				（藤川智彦）					
			創造製作実習	2				（藤川智彦）					
			生体計測装置学実習	2				（日坂真樹）					
			基礎電気工学	2									
			応用電気工学	2									
			基礎電子工学	2				（日坂真樹）					
			応用電子工学	2									
			医用電気電子工学演習	1									
			医用材料工学	2									
			生体物性工学	2									
			医用機械工学	2				（藤川智彦）					
メカトロニクス	2				（藤川智彦）								
基礎製図演習	2				（藤川智彦）								
製図・CAD実習	1				（藤川智彦）								
計測工学	2				（日坂真樹）								
医用機器学概論	2					橘克典							
医用計測学	2				（日坂真樹）								
生体計測装置学	2				（日坂真樹）								
医用生体計測学演習	1				（日坂真樹）								
医用治療機器学	2					（橘克典）							
医療安全管理学	2												
呼吸療法装置学	2							小出卓哉					
体外循環装置学	2					（橘克典）							
職業指導	職業指導	2											
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目													
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	工業科教育法 1	2											
工業科教育法 2	2												
●単位数 A. 「教科に関する専門的事項」の開設総単位数 51単位 B. 「教科に関する専門的事項」の共通開設単位数（他学科等が開設した授業科目の単位数を記載） 0単位 C. 教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 24単位 D. 教員の免許状取得のための選択科目 31単位 E. 「開設授業科目の合計単位数」（C+D）－「免許状取得に必要な最低修得単位数」 31単位							●教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 4人 ●必要教職専任教員数（教科に関する専門的事項） 4人						

※教職専任教員数には「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の教職専任教員は含まないこと。

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（中・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする 学部・学科等	健康情報学部	健康情報 学科	入学定員 165	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 4単位	2. 学 位 学士（工学） 学士（理学療法学） 学士（スポーツ科学）	3. 学位又は学科の分野 工学関係 保健衛生学関係（リ ハビリテーション関 係） 保健衛生学関係（看 護学関係及びリハビ リテーション関係を 除く。） 体育関係
認定を受けよ うとする免許 状の種類	免許法施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数 必修 選択			
中一種免 （数学）	大学が独自に設定する科目	介護等体験指導	1	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基 礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育 相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」について、併せて3単位以上修得		
●単位数 ・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位 数を含む） 1単位 ・教員の免許状取得のための選択科目 0単位 ・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている 単位数の合計 22単位						

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（高・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする 学部・学科等	健康情報学部	健康情報 学科	入学定員 165	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学 位 学士（工学） 学士（理学療法 学） 学士（スポーツ科 学）	3. 学位又は学科の分野 工学関係 保健衛生学関係（リ ハビリテーション関 係） 保健衛生学関係（看 護学関係及びリハビ リテーション関係を 除く。） 体育関係
認定を受けよ うとする免許 状の種類	免許法施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数			
			必修			
高一種免 （数学）	大学が独自に設定する科目	介護等体験指導 道德教育の理論と方法		1 2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等」の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上修得	
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位 数を含む） ・教員の免許状取得のための選択科目 ・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている 単位数の合計			0単位 3単位 28単位		

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（中・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする 学部・学科等	健康情報学部	健康情報 学科	入学定員 165	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 4単位	2. 学 位 学士（工学） 学士（理学療法学） 学士（スポーツ科学）	3. 学位又は学科の分野 工学関係 保健衛生学関係（リ ハビリテーション関 係） 保健衛生学関係（看 護学関係及びリハビ リテーション関係を 除く。） 体育関係
認定を受けよ うとする免許 状の種類	免許法施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数 必修 選択			
中一種免 (保健体育)	大学が独自に設定する科目	介護等体験指導	1	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基 礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育 相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」 について、併せて3単位以上修得		
●単位数 ・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位 数を含む） 1単位 ・教員の免許状取得のための選択科目 0単位 ・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている 単位数の合計 23単位						

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（高・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする学部・学科等	健康情報学部	健康情報学科	入学定員 165	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学 位 学士（工学） 学士（理学療法 学） 学士（スポーツ科 学）	3. 学位又は学科の分野 工学関係 保健衛生学関係（リ ハビリテーション関 係） 保健衛生学関係（看 護学関係及びリハビ リテーション関係を 除く。） 体育関係
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数 必修 選択			
高一種免 （保健体育）	大学が独自に設定する科目	介護等体験指導 道德教育の理論と方法		1 2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等」の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上修得	
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） ・教員の免許状取得のための選択科目 ・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計			0単位 3単位 29単位		

様式第2号（大学が独自に設定する科目）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（高・大学が独自に設定する科目）						
認定を受けようとする学部・学科等	健康情報学部	健康情報学科	入学定員 165	1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 大学が独自に設定する科目 12単位	2. 学 位 学士（工学） 学士（理学療法 学） 学士（スポーツ科 学）	3. 学位又は学科の分野 工学関係 保健衛生学関係（リ ハビリテーション関 係） 保健衛生学関係（看 護学関係及びリハビ リテーション関係を 除く。） 体育関係
認定を受けようとする免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考		
		授業科目	単位数 必修 選択			
高一種免 (工業)	大学が独自に設定する科目	介護等体験指導 道德教育の理論と方法		1 2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等」の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上修得	
●単位数	・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） ・教員の免許状取得のための選択科目 ・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計			0単位 3単位 39単位		

様式第2号（第66条の6に定める科目）

教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目							
認定を受けようとする 学部・学科等		健康情報学部	健康情報学科	入学定員 165	学 位 学 士（工学） 学 士（理学療法学） 学 士（スポーツ科学）		学位又は学科の分野 工学関係 保健衛生学関係（リハビリテー ション関係） 保健衛生学関係（看護学関係及 びリハビリテーション関係を除 く。） 体育関係
免許法施行規則に定める 科目区分		単位数	左記に対応する開設授業科目			備考	
			授業科目	単位数			
				必修	選択		
日本国憲法		2	日本国憲法	2			
体育		2	身体・スポーツ文化論 生涯スポーツ実習 A 生涯スポーツ実習 B スポーツ方法実習（器械運動） スポーツ方法実習（陸上競技） スポーツ方法実習（武道） スポーツ方法実習（水泳・水中運動） スポーツ方法実習（ダンス）	2 1 1 1 1 1 1 1		これら 7 科目より 1 科目選択必修	
外国語コミュニケーション		2	Practical English 1 Practical English 2	1 1			
数理、データ 活用及び人工 知能に関する 科目又は情報 機器の操作	数理、データ活用及び 人工知能に関する科目	2					
	情報機器の操作		コンピュータリテラシー 1	2			
			コンピュータリテラシー 2		2		
			プログラミング基礎演習		2		

様式第2号（中高・教育の基礎的理解に関する科目等）

認定を受けようとする学部学科等の教育課程及び教育研究実施組織（中高・教育の基礎的理解に関する科目等）														
認定を受けようとする学部・学科等		健康情報学部		健康情報学科		入学定員合計 165		1. 免許状取得に必要な最低修得単位数 教育の基礎的理解に関する科目等 中一種免27単位、高一一種免23単位		2. 認定を受けようとする免許状の種類 中高一種免（数学） 中高一種免（保健体育） 高一一種免（工業）				
開設体制	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				教職専任教員				備考		
	科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数		共通開設 学校種等							
					必	選		教授	准教授	講師	助教			
大学において 共通開設 共通開設する 学科等の入学 定員の合計 （今回申請する 学科等以外も 含む。） 831人	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2			佐野正彦						
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2			（佐野正彦）						
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2			（佐野正彦）						
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2			平沼博将	安達未来					
				発達心理学	2									
		現代社会と青年の心理		2			（安達未来）							
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別ニーズ教育の基礎と方法	2		（平沼博将）							
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2											
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の理論と方法	2							中免のみ		
		総合的な学習（探究）の時間の指導法		教育方法技術論と総合的な学習の時間の指導法	2						教育の方法及び技術を含む			
		特別活動の指導法		特別活動指導法	2									
		教育の方法及び技術												
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術活用論	2									
		生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2			（安達未来）			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む			
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2		（平沼博将）							
	教育実践に関する科目	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法												
		教育実習	中5 高3	教育実習 1	2			（平沼博将）	（安達未来） （村木有也）			中免のみ必修 高一一種免工業、情報は履修不可		
				教育実習 2		2		（平沼博将）	（安達未来） （村木有也）					
				事前・事後指導	1			（平沼博将）	（安達未来） （村木有也）					
		学校体験活動												
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2			（平沼博将）	（安達未来） （村木有也）						
	●単位数		・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 中31単位／高27単位 ・教員の免許状取得のための選択科目 中 4単位 高 数学、保健体育 6単位 工業 4単位 ・開設授業科目の合計単位数－免許状取得に必要な最低修得単位数 中8単位／高12単位						●教職専任教員数（教育の基礎的理解に関する科目等） 中4人／高4人 ●教職専任教員数（各教科の指導法） 中（数学）0人、（保健体育）0人 ／高（数学）0人、（保健体育）0人 （工業）0人 ●必要教職専任教員数 中3人／高3人					

※教職専任教員欄の網掛けは消去しないこと。